

岡本一平 現代(風刺)漫画創始して、<大正デモクラシー>期を画す一方、かの子の夫として特異な生き方をした。

おかもといっぺい

帝国大学始・1886 = 函館に生まれる。

帝国憲法発布1889 = 3歳：

足尾鉾毒始・1891 = 5歳：以降、東京日本橋で育ち、

日清戦争始・1894 = 8歳：

日清戦争終・1895 = **9歳**：

日露戦争始・1904 = **18歳**：

日露戦争終・1905 = 19歳：

東京美術学校西洋画科で、藤島武二に師事、

韓国併合・・1910 = 24歳：*卒業。若手作家として登場していたかの子に要請して結婚。帝国劇場の舞台美術に従事する一方、(新潮)にコマ画を投稿して掲載されるなどした後、

明治天皇没・1912 = 26歳：*{東京朝日新聞}に入社して漫画を担当、自ら"漫文"と呼ぶ警句をもって従来のボンチ絵的漫画を一変させるとともに、政治漫画にも一時期を画して多くの影響を及ぼす一方、

大正政変・・1913 = **27歳**：

第一次大戦始1914 = 28歳：_(磯部甲陽堂)から「探訪画趣」を出版、以後、同社からも出版を続ける。

第一次大戦終・1918 = 32歳：この頃から妻かの子とともに参禅し、その作風にも仏教の影響があらわれる。

原敬首相暗殺1921 = 35歳：_代表作「人の一生」の連載を開始、

水平社結成・1922 = **36歳**：ヨーロッパに遊びに出て中断、

護憲三派圧勝1924 = 38歳：*「世界漫画漫遊」を出版。「人の一生」の連載を再開、絶大な人気を得て映画化もされる。

また文壇風刺の「文芸漫画」に才筆をふるうなど、漫画の芸術化、現代化に努めた。

世界恐慌・・1929 = 43歳：*「人の一生」終了。予約販売の「一平全集」全15巻が大量に売れ、莫大な印税を得たことから、妻とその愛人・息子太郎とともに世界旅行に出、

満州事変・・1931 = **45歳**：児童漫画「平気の平太郎」、

五一五事件・1932 = 46歳：_パリで太郎を留学させ当地に残して、帰国。

日中戦争始・1937 = 51歳：

第二次大戦始1939 = 53歳：_妻かの子が死去するとその遺稿を整理して刊行、

大政翼賛会・1940 = **54歳**：太郎が帰国、

日米開戦・・1941 = 55歳：

敗戦・・・1945 = 59歳：

極東裁判決・1948 = 62歳：脳内出血で_没した。